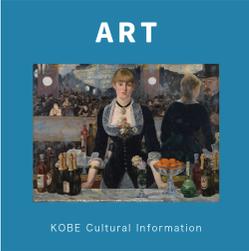
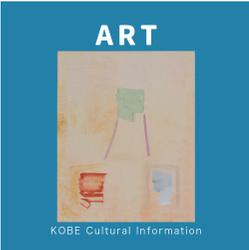


4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月13日時点

ART [アート]

Instagram表紙イメージ	イメージ	タイトル	内容	詳細
 <p>ART</p> <p>KOBE Cultural Information</p>		<p>コートールド美術館展 魅惑の印象派 【神戸市立博物館】</p>	<p>マネ、ルノワール、セザンヌ、モネら、印象派・ポスト印象派の巨匠たちの貴重な作品がイギリス・コートールド美術館から神戸市立博物館に来日します。世界有数のセザンヌ・コレクションから、マネ最晩年の傑作「フォーリー=ベルジェールのバー」等、見応えある作品が集結します。コートールド美術館が研究機関である側面にも着目し、美術史研究や科学的調査に基づいて作品を読み解く展示にも注目です。</p> <p>画像 エドゥアール・マネ 《フォーリー=ベルジェールのバー》1882年 油彩、カンヴァス コートールド美術館 © Courtauld Gallery (The Samuel Courtauld Trust)</p>	<p>期間: 3/28(土)～6/21(日) 場所: 神戸市立博物館(神戸市中央区京町24) 休館日: 月曜、5/7(木)※5/4(月・祝)は開館 料金: 一般1,500円、大学生750円、高校生以下無料 問い合わせ: (078)391-0035</p>
 <p>ART</p> <p>KOBE Cultural Information</p>		<p>江戸とんぼを探る 一粒・願い・交易ー近世和玉の美 【KOBEとんぼ玉ミュージアム】</p>	<p>庶民の間で絶大な人気を誇り、多彩な技術やデザインが生み出された江戸時代のとんぼ玉を紹介します。海外のデザインを取り入れたものや、金魚や花小紋といった当時の流行が垣間見られるもの等を展示します。とんぼ玉を通して、交易や当時の流行、生活文化といった生き生きとした江戸の様子が伝わってきます。</p>	<p>期間: 4/11(土)～7/7(火) 場所: KOBEとんぼ玉ミュージアム(神戸市中央区京町79日本ビルディング2階) 休館日: 会期中無休 料金: 一般400円、中小200円 問い合わせ: (078)393-8500</p>
 <p>ART</p> <p>KOBE Cultural Information</p>		<p>生島国宜展「さっぱりした多様性」 【ギャラリーヤマキファインアート】</p>	<p>若手画家の登竜門として知られる「VOCA展 2020 現代美術の展望ー新しい平面の作家たちー」(上野の森美術館)へ出品し、今後のさらなる活躍が期待されている若手作家・生島国宜の展覧会。様々な技法を駆使した、新作を含む30作品を展示します。</p> <p>画像1枚目 《痩せたる犬の腹を肥やせよ》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm 画像2枚目 《ロープウェイ》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm 画像3枚目 《紫雲》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm</p>	<p>期間: ~4/18(土) 場所: ギャラリーヤマキファインアート(神戸市中央区元町通3-9-5 2階) 休館日: 日曜、月曜 料金: 無料 問い合わせ: ギャラリーヤマキファインアート (078)391-1666</p>

※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス 感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公園の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。

4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月13日時点

MUSIC [ミュージック]

Instagram表紙イメージ	イメージ	タイトル	内容	詳細
		ミハル・カニユカ & 関西弦楽四重奏団 【神戸新聞松方ホール】	チェコを代表するチェリストのミハル・カニユカが、日本の主要オーケストラのコンサートマスターや首席奏者らで編成する関西弦楽四重奏団と共演します。シューベルトの弦楽四重奏曲第14番ニ短調『死と乙女』と、彼の最後の室内楽として知られる弦楽五重奏曲ハ長調を演奏し、円熟の音色を響かせます。	期間：4/4(土)16:00開演 場所：神戸新聞松方ホール(神戸市中央区東川崎町1-5-7) 料金：3,500円 問い合わせ：松方ホールチケットオフィス (078) 362-7191
		チェロアンサンブルKobe 第3回定期演奏会 【灘区民ホール】	プロとアマチュアのチェロ奏者が合同で結成したチェロアンサンブルKobeの公演が開催されます。団全員での演奏のほか、プロチェリストのみのアンサンブルやチェロを学ぶ高校生以下による演奏も楽しめます。作品はシベリウスの「アンダンテ・フェスティヴァーヴォ」ほか。チェロ尽くしのプログラムです。 画像 過去の定期演奏会の様子	期間：4/26(日)14:00開演 場所：灘区民ホール(灘区岸地通1-1-1) 料金：一般2,000円、高校生以下1,000円※未就学児不可 問い合わせ：チェロアンサンブルKobe事務局 080-5302-4194

※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公園の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。

THEATER [シアター]

Instagram表紙イメージ	イメージ	タイトル	内容	詳細
		桂三若の落語会 ～利き酒でお花見気分～ 【葦合文化センター 大ホール】	神戸出身の落語家・桂三若を筆頭に月亭希遊、露の薫の3人がお酒にまつわる演目を披露します。休憩時間には地元の酒蔵の利き酒3種を解説付きで楽しめる、お花見気分の落語会です。	期間：4/18(土)17:30開演 場所：葦合文化センター 大ホール(神戸市中央区旗塚通4-4-1) 料金：2,500(2,000)円※未就学児不可、当日要身分証 問い合わせ：同センター (078)242-0414
		木津川計の一人語り劇場 新作初演「かぐや姫」 【風月堂ホール】	かぐや姫はどんな罪を犯して地球にやって来て、私たちに何を伝えて帰ったのか。誰もが知る昔話「かぐや姫」に込められた謎を、大学等でも教鞭をとってきた木津川計が独自の解釈を盛り込みながら一人語りで解き明かします。4月で閉館する風月堂ホールでの最後の公演にもなります。	日時：4/25(土)14:00開演 場所：風月堂ホール(神戸市中央区元町通3-3-10) 料金：3,500(3,000)円※創作和菓子付き 問い合わせ：神戸芝居カーニバル実行委員会 090(1914)4907

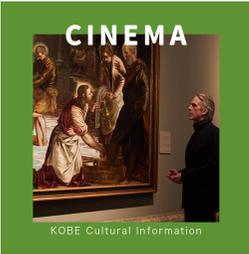
※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公園の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。

4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月13日時点

CINEMA [シネマ]

Instagram表紙イメージ	イメージ	タイトル	内容	詳細
		<p>ブラド美術館 驚異のコレクション 【シネ・リーブル神戸】</p>	<p>2019年11月に開館200周年を迎えたスペイン・マドリードにあるブラド美術館の名品に密着したドキュメンタリー映画。15世紀から19世紀にかけて歴代のスペイン王室が築いた膨大なコレクション中でも特に注目のディエゴ・ベラスケス、フランシスコ・ゴヤらの作品を複写し、筆遣いを克明に映し出します。同館学芸員の解説や収蔵品を保存、修復、研究するスタッフの作業の風景等も。同館の魅力を余すところなく伝える作品です。</p> <p>画像 ©2019 - 3D Produzioni and Nexo Digital - All rights reserved</p>	<p>日時: 4/10(金)～ 場所: シネ・リーブル神戸 (神戸市中央区浪花町59神戸朝日ビルディング地下1階・4階) 料金: 一般1,800円、大学・専門生1,500円、シニア1,200円、高校生以下1,000円 問い合わせ: 同館 (078)334-2126</p>
		<p>神戸みんなの映画会 『パンダコパンダ 劇場版』他1本 【神戸芸術工科大学 吉武ホール】</p>	<p>映画に関する研究にも取り組む神戸芸術工科大学で毎月1回開催されている映画上映会。4月は、宮崎駿が原案・脚本・画面設定、高畑勲が監督を務めた1972年公開の『パンダコパンダ 劇場版』を上映します。竹やぶの一軒屋にたった一人で住んでいた少女ミミ子の家にやってきた小さなパンダのパンちゃんとその親のパンダ。パンダがミミ子の父親代わりに、ミミ子がパンちゃんの母親になると決めて始まった奇妙で楽しい新生活の物語です。併せて『パンダコパンダ 雨ふりサーカス』も上映します。</p> <p>画像 『パンダコパンダ』©TMS</p>	<p>日時: 4/25日(土) 16:00～ 場所: 神戸芸術工科大学 吉武ホール(西区学園西町8-1-1) 料金 無料 問い合わせ: 同大学 (078)794-2112</p>
		<p>『新聞記者』 『工作～黒金星と呼ばれた男～』 ※2本立て 【バルシネマしんこうえん】</p>	<p>昭和46年に開館した「バルシネマしんこうえん」では、ロードショーが終了した作品の中から、テーマを設定して二本立てで名画を上映しています。</p> <p>『新聞記者』 現役の新聞記者の著書『新聞記者』を原案に、権力中枢の闇に迫ろうとする女性記者と若手エリート官僚との対峙・葛藤を描いたオリジナルストーリー。第43回日本アカデミー賞で最優秀作品賞に選ばれたほか、主演のシム・ウンギョンと松坂桃李が最優秀主演男優賞、最優秀主演女優賞を受賞。</p> <p>『工作～黒金星と呼ばれた男～』 実在した韓国の工作員の想像を絶する工作活動の実態を描くとともに、彼が目にした祖国の闇を描いた作品。頭脳と心理を駆使した迫真のだまし合いが繰り広げられます。監督は『悪いやつら』等のユン・ジョンビン。</p> <p>画像1・2枚目 ©2019「新聞記者」フィルムパートナーズ 画像3枚目 ©2018 C.J ENM CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED</p>	<p>期間: 3/28(土)～4/7(火) 場所: バルシネマしんこうえん(神戸市兵庫区新開地1-4-3) 料金: 一般1,300円、シニア1,100円、大学生900円、高中小800円 問い合わせ: 同館 (078)575-7879</p>

※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス 感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公園の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。